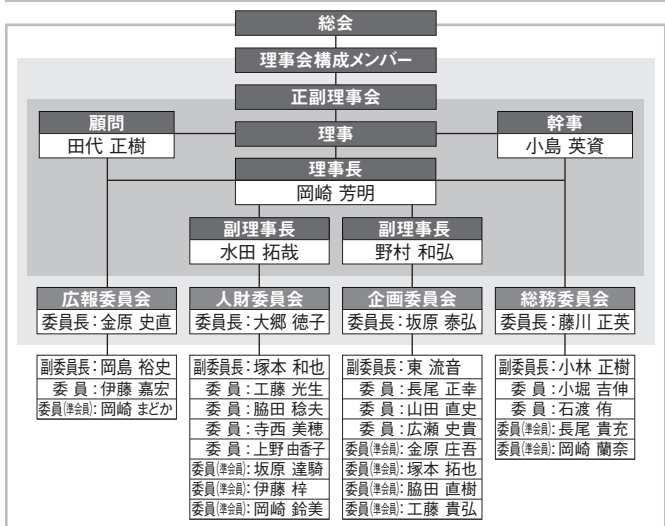


一般社団法人 日本化粧品専門店協会 組織図



口座がなくても新規取り扱いができて、良い結果を生んでいます」とCoReの協働施策がきっかけで新規取り扱いを始めた店も多数。

さらに「会員同士で成功事例をLINEで共有するなど、普段からかなり活発に情報交換を行なっていることも大きなメリットの一つ。どんな情報を共有するのがCoRe

のいいところだと思います。CoReの本質的な価値は、メンバーそれぞれが現場で培った経験や知見を持ち寄り、共有し、さらに進化できることです」(岡崎理事長)。

山店は順調に売上を伸ばしており、ここに大きな可能性が秘められているのではないかと。メーカーさんにおいても、リアルでの接点の場が減少することは避けたいと思いますし、それならGMS、メーカー、そして我々CoReの三方よしを目指せる、新しいビジネスモデルの形を会員企業とともに全国へ広げていきたいと考えています。今後、化粧品専門店がGMS内の化粧品売場を担うケースが増えていくのではないかと岡崎理事長は見ている。

「ゆめタウン福山店」は資生堂、カネボウ化粧品、コーセー、アルビオンといった専門店でもお馴染みのブランドからハイブランドのポーラやオルビス、ピアスグループ、シエルクール化粧品、アテナと

今年1月には、CoRe会員をはじめ後継者、店長を対象に、LOOKさんすて店で「新業態研究セミナー」を開催。

岡崎理事長の舵取りのもと、新たに船出したCoRe。「チャネルスクランブルプロジェクト」がどういった結果を生み出すのか、注目が集まる。

ハリウッド様の青汁『グリーン グリーン』の拡充に力を入れています。会員メンバーのほとんどがこの企画に参加しており、中でも取り扱いのなかったCoReメンバーが新たにグリーングリーンを導入しトップの成績を上げるなど、成果も出てきています。リサージェメンの協働施策の際も、CoReメンバーにおいては

口座がなくても新規取り扱いができて、良い結果を生んでいます」とCoReの協働施策がきっかけで新規取り扱いを始めた店も多数。

さらに「会員同士で成功事例をLINEで共有するなど、普段からかなり活発に情報交換を行なっていることも大きなメリットの一つ。どんな情報を共有するのがCoRe

のいいところだと思います。CoReの本質的な価値は、メンバーそれぞれが現場で培った経験や知見を持ち寄り、共有し、さらに進化できることです」(岡崎理事長)。

山店は順調に売上を伸ばしており、ここに大きな可能性が秘められているのではないかと。メーカーさんにおいても、リアルでの接点の場が減少することは避けたいと思いますし、それならGMS、メーカー、そして我々CoReの三方よしを目指せる、新しいビジネスモデルの形を会員企業とともに全国へ広げていきたいと考えています。今後、化粧品専門店がGMS内の化粧品売場を担うケースが増えていくのではないかと岡崎理事長は見ている。

「ゆめタウン福山店」は資生堂、カネボウ化粧品、コーセー、アルビオンといった専門店でもお馴染みのブランドからハイブランドのポーラやオルビス、ピアスグループ、シエルクール化粧品、アテナと

今年1月には、CoRe会員をはじめ後継者、店長を対象に、LOOKさんすて店で「新業態研究セミナー」を開催。

岡崎理事長の舵取りのもと、新たに船出したCoRe。「チャネルスクランブルプロジェクト」がどういった結果を生み出すのか、注目が集まる。

今年1月には、CoRe会員をはじめ後継者、店長を対象に、LOOKさんすて店で「新業態研究セミナー」を開催。

岡崎理事長の舵取りのもと、新たに船出したCoRe。「チャネルスクランブルプロジェクト」がどういった結果を生み出すのか、注目が集まる。



「LOOK ゆめタウン福山店」

日本化粧品専門店協会「CoRe」

岡崎芳明新理事長体制がスタート スローガンは「高めあい、成長する」



岡崎新理事長

これまで田代正樹理事長(神奈川「たしろ薬品」)がトップに立ち、田代理事長含め計9名(社)の創設メンバーを中心に、次世代に向けた専門店業界の地盤づくりを推進。会員企業が相互に連携しながら、メーカー各社との協働取り組みや独自の販促企画を行ない、

23社33名、準会員制度設け組織基盤を強化 「チャネルスクランブルプロジェクト」推進

本紙で既報の通り今春、一般社団法人日本化粧品専門店協会(以下、CoRe(コア))の新理事長に広島・福山「LOOK」の岡崎芳明社長が選任され、5月28日開催の総会で可決承認された。岡崎理事長は新たなスローガン「高めあい、成長する」を掲げ、CoReが化粧品業界を牽引する存在へと成長していく考えを強調。新体制のもと、どのような舵取りを担うのか。岡崎理事長に聞いた。

活動の質を高めてきた。実際、CoReに入会した店舗にはPOLA、オルビス、KANEBO、リサージュ、アテナ、ファンケル、ヴァロン等、多くのブランドが導入され、その成長の勢いは加速している。

CoReの本筋である専門店としての力をつける地盤が整ってきたところで、理事長のバトンが田代氏から岡崎氏へと引き継がれ、「さらに20年後、30年後の未来においても勝ち続ける」専門店像を目指す」(岡崎理事長)。

田代氏が顧問に就任。そのほか理事の陣容は岡崎理事長を筆頭に、副理事長には野村和弘氏(愛知「くわこや」)と水田拓哉氏(佐賀「化粧品工房ビジーナ」)の2名が、監事に小島英資氏(新潟「ザ・コスモス」)が就いた。各委員会については、広報委員会委員長が金原史直氏(山口「わたなべ」)、人財委員会委員長が大郷徳子氏(埼玉「バーミンダイゴウ」)、企画委員会委員長が坂原泰弘氏(静岡「リバー」)、総務委員会委員長が藤川正英氏(愛媛「フジカワ」)というメンバー構成だ(3面表参照)。

岡崎理事長は「新たな組織体制をつくるにあたり、大きな変革点として準会員を設けたことが挙げられます。準会員とは会員企業の家族会員に当たり、私でいうと妻と娘が準会員として新たに入会しました。20年後、30年後も化粧品専門店が強い存在であり続けるためには次世代に繋げていくことも我々の大事な使命。会員企業の後継者がCoReで学び

を深めてもらい、良い意味でメンバーみんな仲間であり、ファミリー」という形で、後継者の育成も一緒にやっていこうよという気概で動いています」。

準会員は総会での議決権はないが、それ以外はすべて会員と同じ立ち位置で、委員会にも属し、それぞれ独自の取り組みを推進していく。会員の定年は75歳、理事は70歳とし、今後は本会員と準会員が入れ替わり、スムーズな世代交代に繋げていきたい考えだ。こうして9社からスタートしたCoReは、今年新たに

独自施策で幅広い企業との連携進む ハリウッド「グリーングリーン」が好調

1名の会員と準会員10名が加わり、現在の会員企業は23社33名に拡大、全国各地にメンバーが広がっている。

「仲間は順調に増えています。が、やみくもにメンバーを増やしていく考えはなく、あくまでも日々専門店経営のために努力している人や志の高い人と一緒にこの業界を発展させていきたいと考えています」とこれまで以上に会員企業間での連携を深めることで、CoReとして個店では到達できないステージへ進みたいと岡崎理事長は意欲を見せる。

「企業との規模関係なく、幅広いメーカー様とバランスよく協働施策を組める点がCoReの強み。今年からは「Style Beauty」様との販促企画を進めており、現在